

履歴および教育・研究活動の記録

塩川千尋

I 略歴

1. 学歴

- 1962年4月 東京外国語大学英米科入学
- 1966年3月 東京外国語大学英米科卒業
- 1968年4月 東京外国語大学大学院ゲルマン系言語英語科修士課程入学
- 1971年3月 東京外国語大学大学院ゲルマン系言語英語科修士課程修了

2. 職歴

- 1966年4月 住友信託銀行入社
- 1967年6月 住友信託銀行退職
- 1971年4月 拓殖大学商学部専任講師
- 1973年4月 成城大学文芸学部専任講師
- 1976年4月 成城大学経済学部専任講師
- 1979年4月 成城大学文芸学部専任講師
- 1980年4月 成城大学文芸学部助教授
- 2004年4月 成城大学文芸学部教授（現在に至る）

Ⅱ 研究業績

論文 [単著]

1. 1972年7月 「英国小説私見——ジェーン・オースティン」『海外事情 特集：現代の文学』vol. 20, No. 6 (拓殖大学海外事情研究所)、59-66頁
2. 1972年9月 「ジェーン・オースティンの小さな世界」『拓殖大学論集』第86号人文・自然科学特集号 (拓殖大学研究所)、133-168頁
3. 1973年11月 “JANE AUSTEN—Her Artistic Development—”『RANDOM』No. 1、梶木隆一先生記念号 (東京外国語大学英米科大学院)、79-101頁
4. 1977年2月 「ジョージ・エリオットの小説——主題と手法——Ⅰ 序章 Ⅱ『牧師館物語』」『成城文藝』第79号、58-126頁
5. 1978年2月 「ジョージ・エリオットの小説——主題と手法——Ⅲ『アダム・ビード』」『成城文藝』第83号、12-55頁
6. 1979年3月 「ジョージ・エリオットの小説——主題と手法——Ⅳ『フロス河畔の水車場』」『成城文藝』第88号、25-79頁
7. 1980年3月 「ジョージ・エリオットの小説——主題と手法——Ⅴ『サイラス・マーナー』」『成城文藝』第91号、42-73頁
8. 1988年10月 「小説の中の吸血鬼 (1) (一)『吸血鬼』 (二)『カメラ』」『成城文藝』第124号、24-52頁
9. 1989年4月 A Study of *Romola*: Retrogression in Artistic

Creativity, Seijo English Monographs, no. 26, pp. 1-51.

10. 1989年11月 「小説の中の吸血鬼 (2) (三)『ドラキュラ』」『成城文藝』第128号、16-40頁
11. 1995年2月 「ジョージ・エリオットの短編『剥がされたベール』」『成城文藝』第149号、42-63頁
12. 1998年4月 “George Eliot’s “Brother Jacob”: An Experimental Story for the Writing of the Novel (Part I),” *Seijo English Monographs*, no. 29, pp. 1-28.
13. 2003年12月 “George Eliot’s “Brother Jacob”: An Experimental Story for the Writing of the Novel (Part II),”『成城文藝』第184号、76-102頁